

出向く宮農レポート

キャベツの定植初期の防除について



北部宮農センター 瀬戸地区担当
村瀬 淳

瀬戸市の三国山地区でキャベツを栽培している生産者の圃場へ出向きました。三国山地区では冷涼な環境・気候を活かして時期をずらした栽培をしています。

8月上旬、学校給食出荷に向けて3軒の生産者に対し、約2,000本のプラグ苗を配付しました。10月下旬～2月の間で3tの出荷を予定しています。

この時期は気温が高く病害虫の対策が不可欠です。特に定植後2週間の初期生育が後の収穫に大きく影響します。そのため、害虫対策で『ベリマークSC』、黒腐病の予防で『オリゼメート粒剤』を各生産者へ提案しました。



写真は、定植してから1週間程経過してから訪問した際の写真です。
定植初期の病害虫対策を行ったため、生育は順調でした。

今後も継続的に訪問し、生産者と連絡をとり病害虫が蔓延しないよう農薬や資材を提案していきます。



■ベリマークSC

希釈倍率：400倍（セル成型育苗トレイ
1箱30×60cmあたり0.5ℓ）
使用時期：育苗後半～定植当日（今回は定植前日に1灌注を行いました）
使用回数：1回
使用方法：灌注（ジョウロなどを用いて
土壌に注ぐこと）



■オリゼメート粒剤

使用量：6～9kg/10a
使用時期：定植時
使用回数：1回
使用方法：圃場全体に処理する全面土壌
混和または畝だけに処理をする
作条土壌混和（今回は全面
土壌混和を行いました）